

阪神・淡路大震災25年記念事業一覧

R1. 8. 26現在

令和2年1月17日に阪神・淡路大震災から25年を迎えます。震災25年の節目に向けて、「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』」を基本コンセプトに、震災の経験と教訓を広く社会に発信し、次の大災害への備えや対策の充実を図るための事業を多様な主体が実施していきます。

【実施中・今後実施予定の事業】

忘れない				
事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
阪神・淡路大震災25年キャンペーン	R1. 5月 ～R2. 3月	兵庫県内	震災を経験していない若者世代の主体的な取組により、震災の経験・教訓の継承・活用を図る。 ①震災25年若者キャンペーンプロジェクト（助成事業） ②特設サイト及び若者広報チームによる情報発信 等	ひょうご安全の日推進県民会議 (TEL:078-362-4354、 078-362-4902)
令和元年度(第22回)お弁当・おむすびコンテスト	R1. 6月～	兵庫県内	小・中・高校生がごはんに親しむため、ごはん中心のヘルシーな「お弁当」や大切な人のために感謝や愛情を込めて創意工夫をこらした「おむすび」を募集し、広く県民に紹介する。今年度は特に「阪神・淡路大震災を忘れない」という思いが込められていることを応募条件のひとつとする。	おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会 (TEL:078-221-1115)
人と防災未来センター特別展示	R1. 12月 ～R2. 5月	神戸市 (人と防災未来センター)	人と防災未来センターのこれまでの研究成果や収蔵資料等を活用した特別展示を実施する。 [展示内容(予定)] ①GISで見直す被災地図、②新たな震災資料展示 ～次世代によるキュレーションから公開へ～、③復興25年史 振り返る1/4世紀 ～教訓を活かす25年の取組～	人と防災未来センター
神戸ルミナリエ開催事業	R1. 12. 6(金) ～12. 15(日)	神戸市 (旧外国人居留地及び東遊園地)	阪神・淡路大震災の犠牲者への鎮魂と大震災の記憶を永く後世に語り継いでいくとともに、まちのさらなる魅力発信と神戸地域への集客を目的に神戸ルミナリエを開催する。	神戸ルミナリエ組織委員会
神戸防災のつどい2020	R2. 1. 17(金)	神戸市 (神戸国際会館)	各種団体や企業と連携し、避難訓練コンサート、セミナー、ブース展示など、復興の経験や教訓を学ぶ。	災害対策セミナー実行委員会
兵庫芸術文化センター管弦楽団第120回定期演奏会	R2. 1. 17(金) ～1. 19(日)	西宮市 (県立芸術文化センターKOBELCO大ホール)	震災からの心と文化の復興のシンボルとして誕生した兵庫芸術文化センター管弦楽団が佐渡裕芸術監督指揮のもと、犠牲者の方々への追悼や震災の教訓を思い起こすためのメッセージを発信するため、第120回定期演奏会を震災記念事業として開催する。	兵庫県 兵庫県立芸術文化センター
高校生による絆コンサート	R2. 2. 1(土)	西宮市 (県立芸術文化センター阪急中ホール)	阪神・淡路大震災を語り継ぐとともに、次に起こりうる災害に対応する防災・減災意識の向上を図るため、震災をテーマとした高校生による絆をつなぐ演奏や兵庫ゆかりの人による語り等を行うコンサートを実施する。	震災25年防災教育事業実行委員会

伝える				
事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
「震災を知る、震災に触れる」体験学習推進事業	R1. 5月 ～R2. 2月	神戸市 三木市 淡路市	震災を知らない子ども達が震災を知り触れることで、阪神・淡路大震災を語り継ぐため、人と防災未来センター、北淡震災記念公園、三木総合防災公園において、県内の公立小中学生の震災に関する体験学習を推進する。	震災25年防災教育事業実行委員会 (TEL:078-362-3214)
若者による震災継承を踏まえた防災啓発動画製作プロジェクト	製作： R1. 7月～12月 上映： R2. 1月以降	神戸市	若者世代が交流しながら、震災の記憶と教訓をゼロから学び、習得した知識を活かして、次なる世代に継承、発信するための新しい防災啓発動画を製作、編集していくプロジェクトを実施し、その様子と完成した動画をメディアを通じて配信する。	「若者たちによる震災を語り継ぐ動画製作プロジェクト」実行委員会 (TEL:06-6945-7135)

事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
福良地区防災フェスタ	R1.9.8(日)	南あわじ市 (福良津津波防災 ステーション及び 市立図書館)	福良津津波防災ステーション周辺は淡路島南部の観光の玄関口としてにぎわっているが、南海トラフ巨大地震が発生した場合、8.1mの津波最高水位が想定されている。本イベントにより福良地区が災害に強いまちづくりを目指していることをアピールし、津波防災ステーションの機能などを啓発することを通じて、地元住民や観光客の防災意識向上を目指す。 【実施内容】フォーラム、参加型イベント、防災学習、セレモニー、福良街歩き、非常食の試食	福良地区防災フェスタ実行委員会 (0799-43-5203)
震災25年 新長田にぎわい交流祭	R1.9.28(土)	神戸市 (新長田駅南地区)	阪神・淡路大震災25年を期に、甚大な被害が生じた長田のまちを参加者が歩きながら復興までの軌跡を体感するとともに、復興・減災について学習し、意識の高揚を図るイベントを開催する。また、同日に同地域で開催されるさまざまなイベントと連携してにぎわいをつくり、活気が溢れるまち新長田を目指す。	ひょうご安全の日推進県民会議 (TEL:078-362-4336)
「阪神・淡路大震災からの創造的復興」シンポジウム	R1.11月頃	神戸市	震災以降、多くの自然災害に見舞われているが、創造的復興をはじめ社会基盤施設整備を推進し、安全安心な県土の確保に努めてきた。一方、東日本大震災では、想定外の事態に対する脆弱性を顕在化させた。今まさに、近い将来の発生が確実視される南海トラフ地震への備えが喫緊の課題となっており、震災の経験・教訓を活かし、防災・減災・強靱化にどのように取り組むのか議論する。	「阪神・淡路大震災からの創造的復興」シンポジウム実行委員会 (TEL:078-362-9248)
こころ豊かな美しい東播磨をめざす実践推進大会	R1.12.14(土)	加古川市 (東播磨生活創造 センター「かこむ」)	東播磨地域の県民運動の実践活動リーダーやボランティア活動団体等が集い、その活動を顕彰するとともに、さらなる県民運動を展開するための講演会を実施する。今年度は阪神・淡路大震災25年の節目の年であることから、ひょうごの「防災」を広く伝える内容とする。	こころ豊かな美しい東播磨推進会議 (TEL:079-421-9102)
「ひょうご安全の日」阪神北地域のつどい	R2.1.13 (月・祝)	川西市 (アステホール)	阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、地域の防災力を強化するため、自主防災組織や防災士等を対象に、防災に関する知識を深めるセミナーを開催する。	兵庫県阪神北県民局
東日本大震災被災者招へい事業	R2.1.16(木) ～1.17(金)	阪神・淡路大震災被災地及び神戸市	宮城県名取市で被災された方々及び現地で支援活動をしている学生を兵庫県に招へいし、阪神・淡路大震災を経験した兵庫県民やボランティア等と意見交換会等を実施する。	ひょうごボランティアプラザ 兵庫県
世界災害語り継ぎフォーラム	R2.1.24(金) ～1.26(日)	神戸市	阪神・淡路大震災25年にあたり、世界各地で実際の災害体験の語り継ぎに取り組む人々や組織が一堂に会して交流・連携を深め、各地の事例を学びあい、語り継ぎの意義を再確認し、その重要性を広く世界に訴えるフォーラムを開催する。 【実施内容(予定)】 ①公開シンポジウム(基調講演、シンポジウム、コンサート、詩の朗読)、②分科会、③全体会議	2020世界災害語り継ぎフォーラム実行委員会
おむすびの日 普及啓発	R2.1月	兵庫県内	おむすびの日(1月17日。記念日登録済み)を啓発する記事を新聞紙面に掲載し、県民に広く周知する。	おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会
お米・ごはん推進フォーラム	R2.2月	神戸市 (県公館)	震災を機に提唱された「おいしいごはんを食べよう県民運動」の一環として、「お米・ごはん」を中心とした健康的な「日本型食生活」を推進し、食や「農」の大切さを広く県民にアピールするため、講演会を開催するとともに、お弁当・おむすびコンテストの最優秀賞受賞者に対する表彰式を行う。	おいしいごはんを食べよう県民運動推進協議会
阪神・淡路大震災を伝える語り部フォーラム	R2.2.3(月)	神戸市 (県公館)	阪神・淡路大震災25年にあたり、震災の語り部が集い、これまでの語り継ぎ活動の具体事例の発表などを通じて、震災を風化させないことを再認識するとともに、今後の語り継ぎについて考える契機とするフォーラムを実施する。	人と防災未来センター

活かす

事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
震災・学校支援チーム(EARTH)被災地での訓練・研修・報告会	R1.8月 ～R2.1月	訪問： 熊本県、宮城県等 報告会： 兵庫県内各地区	震災・学校支援チーム(EARTH)がこれまで支援を行ってきた被災地である熊本県、宮城県等を訪問し、これまでの支援の成果及び課題をEARTH員と被災地の教育関係者で共有する。	震災25年防災教育事業実行委員会 (TEL:078-362-3214)

事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
国際防災・人道支援協議会（DRA）活動報告シンポジウム	R1. 8. 27(火)	神戸市 (JICA関西)	HAT神戸等が集積する国際防災関係機関の活動内容・成果を広く発信し、今後のDRA（国際防災・人道支援協議会）のあり方等について考える。	国際防災・人道支援協議会 (TEL:078-262-5066)
県民ボランティア活動実態調査	R1. 8月	兵庫県内	震災25年記念事業として大規模災害に対する取組などの項目を追加して調査を実施し、今後の県民ボランティア活動の支援方策を検討するための基礎資料とする。 [調査対象] 県内を中心に活動する県民ボランティア活動団体(5,000団体) [調査内容] 活動状況、活動組織運営上の課題、行政・企業・地域等との関係に関する意識等	ひょうごボランティアプラザ (TEL:078-360-8845) 兵庫県 (TEL:078-362-3996)
兵庫県こころのケアセンター開設15周年記念こころのケア国際シンポジウム	R1. 11. 7(木)	神戸市 (ポートピアホテル)	震災を起点として国内外の災害時に行われてきた「こころのケア」活動の課題を検証し、今後の災害の支援活動の充実等に役立てる国際シンポジウムを開催する。	こころのケア国際シンポジウム実行委員会
阪神・淡路25年 ひょうご防災フェスタ	R1. 11月	神戸市	阪神・淡路大震災から25年を迎えるにあたり、楽しみながら参加できるイベント等を通じて、特に次世代を担う若者や子どもたちに防災・減災の重要性等を理解してもらい体験型イベントを開催する。	ひょうご安全の日推進県民会議
兵庫県立大学フォーラム「人を守る減災の科学」	R1. 12. 12(木)	神戸市 (県公館)	防災先進県である兵庫県の大学として、防災、減災、災害支援の知を蓄積しており、阪神・淡路大震災から25年の契機に、これまでの研究成果を共有し、震災の体験から「減災の明日」を模索してきた登壇者とともに人を守る減災について共に考えるフォーラムを開催する。	兵庫県立大学
未就学児・子育て世帯のための新しい防災教育のデザイン・啓発	R2. 1. 17前後	神戸市	未就学児向け、子育て世代向け防災教材を活用した、ワークショップの開催や、教材を活用できるインストラクターの育成などを行い、防災意識の向上を図る。	未定
次世代防災ジュニアリーダーによる「震災をつなぐ・伝える」フォーラム	R2. 1. 18(土)	神戸市 (デュオ神戸)	震災をつなぎ伝える意識や行動力の向上、さらなる防災・減災意識向上を図るために、次世代防災ジュニアリーダーによる被災地支援活動等の内容、成果、今後の課題等について、広く県民に対して発表する。 [実施内容] 実践発表、パネルディスカッション、ポスターセッション等	震災25年防災教育事業実行委員会
防災教育フォーラム	R2. 1. 21(火)	神戸市 (神戸文化ホール)	教職員の指導力及び生徒の防災・減災に関する実践力の向上を図るため、震災の教訓や経験を活かした被災地支援活動や先進的な防災教育の事例発表、パネルディスカッション等を実施する。	震災25年防災教育事業実行委員会
国際防災・人道支援フォーラム（DRAフォーラム）	R2. 1月	神戸市	国内外で発生している災害における被害の様相や課題について討議し、災害多発時代における新たな課題に向けた方策について考える。 [実施内容] 基調講演、パネルディスカッション、事例報告、まとめ	国際防災・人道支援協議会
国際復興フォーラム（IRPフォーラム）	R2. 1月	神戸市	国連などの国際機関や行政、関係団体と連携し、被災地の災害経験やそこから得られた教訓、復興過程における将来の災害に備えた取り組みについて考える。 [実施内容] 基調講演、パネルディスカッション、事例報告、まとめ	国際復興支援プラットフォーム 内閣府 兵庫県 等
21世紀文明シンポジウム	R2. 2. 4(火)	神戸市 (神戸新聞松方ホール)	大震災をはじめ多発する災害を教訓に、災害に対する事前の備えや迅速な復旧・復興に資するシンポジウムを開催し、報道機関とのタイアップによりその内容を全国に発信する。	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
減災復興国際シンポジウム	R2. 2月	神戸市 (予定)	国内外から有識者を招聘し、基調講演、事例報告、パネルディスカッション等を行う。	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
～阪神・淡路大震災25年～巨大災害国際シンポジウム	R2. 3. 16(月)	東京都 (東京国際交流館プラザ平成)	巨大災害への事前の備えの充実や早期の復旧・復興に資するため、当機構でとりまとめた東日本大震災復興の総合的検証の成果を発信するとともに、阪神・淡路大震災からの25年の歩みも踏まえ、被災地のシンクタンクならではのシンポジウムを開催する。	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
教訓活用研究事業	通年	—	今後の大規模災害に備えるため、阪神・淡路大震災及び最近の災害における災害対策の取組みの課題と成果について検証を行う。	ひょうご安全の日推進県民会議

備える				
事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
企業BCP策定支援事業	R1.6月～ R2.3月	兵庫県内	大規模災害発生時には、企業経済活動の停止に伴う混乱や帰宅困難者等が発生することが想定されるため、県内企業のBCP（事業継続計画）策定支援を行い、企業の防災力向上を推進する。	兵庫県 (TEL:078-362-9809)
高齢者・障害者自助力強化推進事業	通年	兵庫県内	県老人クラブ連合会・県身体障害者福祉協会の圏域等ごとに防災対策を率先・指導する防災ピアリーダーを任命・育成し、各団体内でのワークショップや防災イベント、相談対応等を通じて、早期避難や平常時の備え等、防災意識向上を図る。	兵庫県
令和元年度障害者防災ピアリーダーに対する研修会	R1.9.11(水)	神戸市 (県福祉センター)	近年の大規模災害により地域で暮らす障害者・高齢者が多数犠牲になっている。災害から身を守り、早期避難等を促進するため、障害当事者の防災意識強化のための事業を行う。県内市郡町の身体障害者団体の長等に地域の防災に率先して取り組む防災ピアリーダーに就任いただき、基本的な防災知識の習得を目的とした研修会を実施する。	(公財)兵庫県身体障害者福祉協会 (TEL:078-242-4620)
耐震リフォーム達人フォーラム	①R1.10.2(水) シンポジウム・達人塾 ②R1.11.21(木) 達人塾 ③R1.11.25(月) 達人塾	①神戸市 (ラッセホール) ②豊岡市 (豊岡市民会館) ③姫路市 (姫路労働会館)	震災25年を契機として改めて耐震改修に携わる技術者が、耐震改修に関する技術的・営業的なノウハウを取得・共有してもらうため、例年講習会形式で実施している木造住宅耐震リフォーム達人塾を拡大して耐震改修に関わる技術者向けシンポジウムを開催する。	耐震リフォーム達人フォーラム実行委員会 (TEL:078-362-4340)
水道災害に備えた実務訓練	①R1.10.25(金) ②R1.10.29(火)	①神戸市 (教育会館) ②川西市 (多田浄水場)	阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて「兵庫県水道災害相互応援に関する協定」を締結した県下の水道事業者が、合同で訓練を行うことにより、次なる水道災害に備える。	兵庫県企業庁 日本水道協会 (078-362-9377)
兵庫県広域防災センター実戦デモ	R1.10.27(日)	三木市 (兵庫県広域防災センター)	広域防災センターの効率的な活動を促進し、住民の防災意識を高めるため、消防、警察、自衛隊などの災害応急活動要員による実戦的なデモンストレーション等を実施する。 [実施内容] 消防、警察、自衛隊等による救出・救助訓練、車両展示、起震車等による防災体験学習等	兵庫県広域防災センター実戦デモ実行委員会 (TEL:0794-87-2920)
地域と未来をつなぐ“ひょうご基幹道路ネットワーク”シンポジウム	①R1.10.29(火) ②R1.12.16(月) ③R1.12.18(水)	①神戸市 (県公館) ②加古川市 (加古川プラザホテル) ③豊岡市 (市民プラザ)	県内外の広域的な交流・連携を支えるほか、災害時には「緊急輸送機能の確保」を担う基幹道路ネットワークによる地域の発展や防災性の向上について、これまでの取り組みを検証し、幅広く情報発信する。	地域と未来をつなぐ“ひょうご基幹道路ネットワーク”シンポジウム実行委員会 (TEL:①078-362-3514、②078-362-9243、③078-362-3517)
ひょうごため池保全推進フォーラム	R1.11.14(木)	加東市 (滝野文化会館)	ため池の適正管理に関する意識の醸成を図り、地域の貴重な財産であるため池を次世代につなぐため、フォーラムを開催する。	兵庫県
地域防災力向上研修	R1.11月頃	丹波篠山市 丹波市	自治会役員等を対象に、自助・共助の意識の醸成とともに、地域に即した防災力の向上を図るため、DIG（地図を使った防災対策検討訓練）等により、地域の危険箇所の把握や課題を解決する力を養成する。	兵庫県丹波県民局 (TEL:0795-73-3719)
災害ボランティア連携訓練	12月	神戸市	南海トラフ巨大地震を想定し、行政、社協、NPO、災害ボランティアなど多様な主体が一堂に会する図上訓練を実施し、災害時における効果的な団体間の連携のあり方や、受援体制の構築等について考える。	ひょうごボランティアプラザ 兵庫県
震災25年事業 自主防災組織元気フォーラム	R1.12.7(土)	神戸市 (ラッセホール)	「自分たちの命、自分たちのまちは自分たちで守る」という防災の原点に立ち、県民の自主防災に対する意識の醸成を促進し、自主防災組織の活性化を図る。	ひょうご安全の日推進県民会議
神戸市内事業者と連携した防災啓発	R2.1.17前後	神戸市	1月17日の前後に、神戸市内の事業者など事業者と連携して、店舗等で防災関連グッズ、備蓄品の啓発を行うとともに、防災啓発グッズを配布することで、市民の防災意識の向上を図る。	阪神・淡路大震災25年産学官連携防災啓発プロジェクト実行委員会
地域防災訓練及び「ひょうご安全の日」地域のつどい	R2.1.17(金)	丹波篠山市 (城南小学校)	住民の防災意識を高めるため、「1.17は忘れない」防災訓練を「ひょうご安全の日」地域のつどいと併せて実施する。	兵庫県丹波県民局
淡路地域阪神・淡路大震災25年シンポジウム	R1.1.22(水)	洲本市	震災の経験と教訓を次世代に伝えるとともに、今後発生が予測される南海トラフ巨大地震をはじめ、今後想定される大規模災害に備えるため、シンポジウムを開催する。	淡路消防保安協会 淡路県民局

事業名	実施予定時期	実施場所	実施内容	主催者
ジュニア・地域防災スクール	(集合型講座) ①R2. 1. 26(日) ②R2. 2. 9(日)	(集合型講座) ①明石市 (防災センター) ②加古川市 (防災センター)	「災害に強い東播磨」を将来にわたって支える人材を育成するため、管内の小中学生等を対象として防災講話、避難所体験等のジュニア・地域防災スクールを実施する。	主催：兵庫東播磨県民局 実施：兵庫県防災士会
	(出前講座) 随時 ※延べ7回	(出前講座) 小中学校、自治会等		
災害医療フォーラム (仮称)	R2. 2月頃	未定	医師やコメディカルなどの医療職や防災・危機管理部門の関係者が一同に会し、災害医学・災害時医療・危機管理対応に対して議論を深める。	災害医療フォーラム実行委員会 (仮称)
マイ避難カードの作成による住民の避難行動の支援	事業：通年 シンポジウム：冬頃	兵庫県内	県民一人ひとりが、災害時に主体的に避難できるよう、地域住民がマイ避難カード作成を行うワークショップを開催し、実践・検証を経て手引きを作成する。また、県内の実践事例を踏まえたシンポジウムを開催する。	兵庫県
防災と福祉の連携による個別支援計画作成の推進モデル事業	事業：通年 シンポジウム：R2. 3月頃	兵庫県内	自主防災組織等による個別支援計画の作成を推進するため、県下36市町において1箇所程度の自主防災組織を選定し、福祉専門職(ケアマネジャー、相談支援専門員)の協力を得ながら、個別支援計画の作成を促進する。また、モデル事業の取組状況等について報告するシンポジウムを開催する。	兵庫県
自主防災組織体制強化推進事業	通年	兵庫県内	自主防災組織等の活性化を図るため、複数の自主防災組織で行う訓練を支援する。	兵庫県
「ひょうご災害ボランティア協働会議(はばタン会議)」(仮称)	発災時等	—	県内の大規模災害時において、被災者ニーズや支援活動等の情報共有に向けて支援団体の活動を促す情報共有会議を実施する。 [実施時期] 発災直後：毎日、2週間後：隔日、1カ月後：週1回(概ね半年～2年)	ひょうごボランティアラザ 兵庫県
大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト	発災時	—	大規模災害時に被災地でボランティア活動を行う団体・グループに交通費等を助成し、災害ボランティアを社会全体で支える仕組みを構築する。	ひょうごボランティアラザ 兵庫県

伝える

事業名	実施時期	実施場所	実施内容	主催者
阪神・淡路大震災25年総合フォーラム	R1. 6. 30(日)	神戸市 (県公館)	阪神・淡路大震災25年記念事業を展開するにあたり、その幕開けとなるメインイベントとして、震災を経験していない若者や、幼少期の被災経験を胸に全国的に活躍している著名人、震災後に防災対策の充実に取り組んでいる関係者とともに、震災の経験・教訓の継承や更なる活用について考えるフォーラムを開催した。	ひょうご安全の日推進県民会議
六甲山の災害展	R1. 8. 14(水) ～8. 25(日)	神戸市 (人と防災未来センター)	阪神・淡路大震災による山地災害の復旧状況が学べるパネル展示や、降雨体験装置、土石流実験装置等による災害体験を通じて、山地災害の知識や防災意識の向上を目的として開催した。	兵庫県 神戸市 国土交通省六甲砂防事務所

活かす

事業名	実施時期	実施場所	実施内容	主催者
地域コミュニティの防災力の向上シンポジウム	R1. 6. 3(月)	姫路市 (ホテルモントレ 姫路)	平成29～30年度に実施した自主研究「地域コミュニティの防災力向上」について、その研究成果を発表する報告会を開催した。	(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

備える				
事業名	実施時期	実施場所	実施内容	主催者
自主防災組織パワーアップ事業	①R1.7.6(土)～7.7(日) ②R1.7.13(土)～7.14(日)	①加西市(北部公民館) ②小野市(伝統産業会館)	自主防災組織のリーダー等を対象に、HUG(避難所運営ゲーム)の実施により、避難所運営時に発生が見られる出来事について、災害の種類・規模や各地域の実情に応じた事前の想定訓練を実施し、適切な手法を取得させることで、自主防災組織の強化及び地域防災力の向上を図った。	兵庫県北播磨県民局
夏休みお天気フェア	R1.8.2(金)	神戸市(神戸地方気象台)	災害から自分の身を守るためにどのように行動すればよいかを考えることにつなげるため、小学生の親子を対象に、地震・津波、天気に関する実験・展示や、気象台の予報作業現場・観測露場の見学等を行うとともに、協力団体によるイベント・展示を行った。	神戸地方気象台
女性消防団員活性化大会	R1.8.25(日)	神戸市(ラッセホール)	女性消防団員の更なる確保と活動充実を図るため、県下の女性団員等が一堂に集う大会を開催し、事例発表、講演等を実施した。	兵庫県(公財)兵庫県消防協会

実施中・今後実施予定の事業	54
終了した事業	6
合計	60